

着物の洗い張りの自動化設備を導入し、コストの削減、 生産能力の増強を図り、納期の短縮を実現し、販路の拡大を図る。



背景・目的

着物のクリーニングには、「ドライクリーニング」によって丸洗いする方法と、着物を反物に戻し水洗いの後、自然乾燥して仕立て直しする「洗い張り」の二つ方法がある。「洗い張り」は主に手作業による家内工業のため生産能力に乏しく、大量生産・短納期・コスト削減に 대응することができなかった。「洗い張り」のできる職人の高齢化や、下請け業者の減少、後継者不足への不安を解消するため、機

械を導入することとした。機械を入れることによって職人不足を回避できるほか、本事業での設備導入により「洗い張り」の自動化を図り、当社で一貫して行うことで、コスト削減・生産能力向上・納期短縮・販路拡大を目指す。これにより、当社の繁栄を図るとともに新規雇用を積極的に推進していく。

実施内容

導入コスト、設置スペース、操作性、作業効率等を勘案し、シミ抜き機として(株)サン京都製キャンシステムパーフェクトセット、洗い張り機として(有)スズキ産業滋賀製自動洗い張り機等を導入した。

また、本事業の成果を対外的にPRするため、自社ホームページを新たに作りなおした。



成 果

従来、家内工業での手作業であった「洗い張り」を、本事業で導入した機械設備で行った結果、予想以上の成果が得られた。自動洗い張り機は生地を傷めることなく生産能力、作業効率が強化され作業時間の短縮が図られ、機械を導入したことによる時短については約10倍は違うのではないかなと思う。手作業の場合1反仕上がるまで1~2日程要するが、機械の場合半日程で仕上げるができる。ただ、今回の洗い張りの機械は何十反もつなげて流れることから、1反ずつの場合逆に手間がかかってしまう。

ネットの注文は全体の1割弱位。HPでの販路拡大はまだまだ周知が足りないと思うが、最近は途切れなく依頼がある。



株式会社 きれいや

代表者 / 代表取締役会長 中里 豊

創 立 / 平成 10 年 3 月

資本金 / 1,750 万円

従業員数 / 45 名

〒031-0072

青森県八戸市城下2丁目8-18

TEL 0178-47-6707 FAX 0178-47-6706

〈事業内容〉 着物のしみ抜きや黄変抜き、色柄補正および染め替えなどのクリーニングを行う。その他、着物の再生や紋入れにも対応する。

社長のお話

シミは今ついたものならすぐ持ってきてもらえばきれいに取れます。でも、1ヵ月2ヵ月置いてしまうと取れにくくなってしまいます。そうすると汚してすぐ出せば少額で済んでいたものが高額になってしまいます。汚してすぐなら墨だろうがマジックだろうが取れますので、なるべく早めに持ってきて下さい。時間が立てば立つほど金額もさることながら手の施しようがなくなってしまう場合もあります。汚れていることに気づかないこともありますので、着用後には保管する前にシミや汚れがついていないか確認して見てみて下さい。

【今後の展望】

現在、呉服市場の売上は年間3,000億円を横ばいに推移していますが、着物のアフターケア及びクリニック等のメンテナンスの売上は上向きに推移しています。このことから、機械設備導入により、外注を減らし自社で一貫することにより生産能力を向上し、コスト削減・納期短縮を図ることができました。今までの顧客は、大都市圏の事業所（呉服屋、問屋、貸衣装屋）を中心としており、個人との取引はなかったため、ホームページを開設することで営業活動を強化し、個人への販路拡大を図っています。その先へ進むには2次産業の加工屋として、ネットに関しては引き続き洗い張りの周知ですね。

最近は寸法直しが多く、お客さんがシビアで、見積もりを出しても「見えないところ・隠れたところは染み抜きいらない」といわれることが多いです。昔の人は「着物は洗わないもの」「洗ったら生地がへたる」などと言いますが、ドライクリーニングはメーカーさんが何回も実験しており、ほぼダメージはないです。今はクリーニングも進化しているので昔のように洗わないという発想から洗う発想に転換していかないとせっかくの着物がもったいないです。

時代の変化に合わせ、ネットの価格と店舗の価格を合わせました。価格が下がったので若い人も持ってきやすいと思います。



代表取締役社長 中里 慎也